



の教室・行事予定

日	曜	教室・行事等	～毎月10日は人権を考える日～ 「発達障がいへの偏見」は理解者の一言で解消される 各公民館や各集会所で、人権・同和教育地区別懇談会が行われています。先日、ある公民館で行われた地区懇に参加させていただきました。20分ほどの啓発DVDを見て話し合いを行いました。その内容は、障がいがある方、そして、外見からは分からない障がいや病気のある方をどう支援していけばいいのか考え、それぞれの方への支援の仕方を学びました。 DVDの中に大学生の「しゅうせい」という方がおられました。「しゅうせい」さんは、てんかんと発達障がいがあります。見た目では困っていることがあるとは分かりにくいのです。てんかんについては、周囲はどのように対応すればよいのか主治医さんからの話を聞きました。発達障がいによりコミュニケーションが苦手なことについては、母の広子さんから興味深い話を聞きました。中学時代に、発達障がいをよく理解して接してくださる校長先生と巡り合ったそうです。その校長先生が退職されるときに、檀上で感極まって涙を流しながら「ありがとう。ありがとう。」とおっしゃったそうです。すると、「しゅうせい」さんが「どういたしまして。」と答えたのです。その場の雰囲気をつかみにくいのが発達障がいの特徴です。すかさず校長先生は、「ナイスしゅうせい！」と返したのです。このことにより、会場はさわやかな笑いの渦となり、生徒、教職員が気持ちよく校長先生を送り出したとのことです。 校長先生の「ナイスしゅうせい！」の言葉はどうして発せられたのでしょうか。校長先生と「しゅうせい」との交流の賜物でしょう。「しゅうせい」さんのことをよく理解して受け入れていたからこそ出てきた言葉なのでしょう。この校長先生の返しの言葉によって、何が変わったのでしょうか。「しゅうせい」さんの発達障がいを知らない生徒もたくさんいたと思いますが、きっと「しゅうせい」さんのことを、楽しい子、おもしろい子と好意的に受け入れたのではないのでしょうか。校長先生の「ナイスしゅうせい！」がなかったら、変わった子と否定的に受け止める生徒が多かったのではないかと想像できます。校長先生の一言によって、生徒のほとんどが、「しゅうせい」さんのことを好意的に受け止めたことなのでしょう。「しゅうせい」さんの発達障がいを丸ごと受け止めた校長先生の言葉が、その場にいた多くの人々の心を変えたのではないのでしょうか。 私たちの周囲にも、発達障がいのように見えにくいものがあると思います。変わった人と見える方は何に困っているのだらうと、こちらが見ていくことが大切なのではないかと考えます。コミュニケーションを取る中で困っていることを見つけ、その方に対してどのように接していくかが私たちの課題ではないのでしょうか。 西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課
3	月	文化の日	
5	水	フォークダンス (10:00～12:00) クラフト手芸 (13:00～15:00)	
7	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:00～20:30)	
10	月	いきいき百歳体操 (10:00～11:00) 大町体操 (14:00～15:30)	
11	火	茶道 (13:30～15:30)	
12	水	ふれあい料理教室 (9:00～12:00) クラフト手芸 (13:00～15:00)	
14	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:00～20:30)	
17	月	いきいき百歳体操 (10:00～11:00) 健康教室 (11:00～12:00) 大町体操 (14:00～15:30)	
19	水	フォークダンス (10:00～12:00) クラフト手芸 (13:00～15:00) 健康相談 (13:30～15:30)	
21	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:00～20:30)	
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振替休日	
25	火	茶道 (13:30～15:30)	
26	水	クラフト手芸 (13:00～15:00)	
28	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:00～20:30)	
【開館時間】 9:00 ～ 17:00 【休館日】 土曜日 日曜日 国民の祝日 年末年始(12/27～1/4)			

第307回 会館ミニ展示会

『人権ポスター展』

【日程】 11月4日(火)～21日(金)

【場所】 大町会館1階廊下

【提供】 会館運営協力小・中・高等学校

ここ大町会館（隣保館）は、人と出会い、交流、つながる場です。偏見や差別、排除のない多様な生き方やこれからの社会の在り方を語り合う場です。人と人がつながり合う社会に関心がある方、何かを始めたいと思っている方、お気軽にお立ち寄りください。ご心配事、悩み事など各種相談、お申込み・お問い合わせは、**西条市大町会館（☎0897-55-5393）**まで、お気軽にご相談ください。

大町会館だより 11月号



2025(令和7)年11月 No.307

発行:西条市大町会館

〒793-0035 西条市福武甲 1644-1

TEL・FAX (0897) 55-5393

E-mail omachikaikan@saijo-city.jp

お二人に、お聞きしました😊

会館ロゴマーク&イメージキャラクターへの思い

速報として先月号でお知らせしましたが、会館設立50周年を記念して募集しました大町会館をイメージ、モチーフとしたロゴマーク並びにイメージキャラクターが選考を経て決定しました。今号ではそれぞれの作品を考案していただきました制作者のお二人に、作品についてその制作に係る思いや意図をお聞きしました。

【ロゴマーク】 考案者 藤田 正紀 さん（大町登道）

- ・制作当初、大町会館（隣保館）をイメージとする主体物（会館なら生産物やイメージ化できる構造物など）がなかなか思い浮かばず、AI（人工知能）も参考にしながら図案を考えました。
- ・大町を人権、福祉で優しく包み込むイメージです。
- ・豊かな自然を愛し、人権・同和教育を理解する地域社会づくりを表しています。
- ・色合いも明るい色を基調としながら、両手のつなぎ目には温かく包み込むイメージとして、みかん色のハートを置きました。



大町会館

【イメージキャラクター】 考案者 茨木 仁美 さん（神戸東原）

◆キャラクター名「りんちゃん」

*「りんちゃん」の誕生秘話

- ・あたたかさや希望を象徴する“幸せの青い鳥”をモチーフにしました。
- ・西条市の特徴である、石鎚山（緑）、うちぬきの水（水色）、紅まどんな・柿（オレンジ色）を色でアピールしています。
- ・名前の由来～親しみやすさを大切に、ひらがなで「りん」と表記しました。
- ・隣保館の「隣」にちなんで、人と人の絆を結ぶ「輪(りん)」、「凜(りん)」とした姿勢で未来を見つめる強さ、鐘の音「りん」が響くように心に明るさと澄んだ響きをもたらす存在でありたい、という願いを込めてつけました。



（裏面につづく）

＊性格について＊

- ・人と人をつなぐのが大好き
- ・お祭りや地域の行事には毎年欠かさず参加する(空から見守っています)。
- ・夢は「町中を笑顔にすること！」

「りんちゃん」は地域の温かさと未来への希望を象徴しています。

多くの皆さんのおかげでこの度、大町会館にもロゴマーク並びにイメージキャラクターが誕生しました。これからいろいろな場で活躍してくれることと思います。

末永くよろしくお願いいたします。

教科書無償運動発祥の地～高知市長浜を訪ねて

～神戸コスモス子ども会県外研修～

彼岸入りとともにやっと秋の気配を感じられるようになった9月27日(土)、神戸コスモス子ども会の県外研修として「教科書無償運動発祥の地」高知市長浜地区を訪ねました。

今日では義務教育の課程において使用する教科書は無償(いわゆるタダ)とされており、新年度の4月には、全国すべての小・中学校の子どもたちに無償で配布されています。しかし、戦後を経て昭和30年代後半までは無償ではなく各家庭で買わなければなりません。現在、70歳を超える方々が小学生・中学生の頃、教科書は有料でした。また、どの家庭でも、毎年度の新学期に新しく教科書を買ひ揃えるという経済的な状況ではありませんでした。今回の研修のフィールドワークで訪れた高知市立南海中学校の教科書無償運動に関する展示室でいただいた資料(令和7年3月発行)には、令和7年度の教科書購入の費用は、南海中学1年生で9,520円、中学2、3年生で約4,300円と記されています。愛媛県でも、その金額の差はそう大きくはないと思われます。小学校では中学校と比べて教科数の数が少し少ない分、中学校ほどはいかないまでも約3,000円と決して安価ではないと予想されます。現在このような状況にある教科書を今から60年程前、タダにしようと活動・運動を起こした高知市の長浜地区を訪問しました。

午前中は、長浜地区の教育集会所で特定非営利活動法人「じんけんネットワークながはま」の村上裕亮さんから映像資料を活用しながら長浜地区の概要や歴史、教科書無償運動に関すること、紫雲丸遭難事故、長浜地区の子ども会活動についての講話を拝聴しました。子どもたちの多くが今回の学習テーマに「紫雲丸事故と教科書無償運動との関係について」を挙げていましたので、熱心にメモを取りながら村上さんのユーモアを交えながらのお話に聞き入っていました。

この紫雲丸遭難事故とは、1955年(昭和30年)5月11日高松市沖で起きた船同士の衝突事故のことです。四国四県から多くの修学旅行児童・生徒が犠牲となった痛ましい事故でした。西条市でも庄内小学校の児童及び保護者の方が犠牲となったことをご存じの方も多いかと思ひます。紫雲丸事故から今年で70年という節目の年を迎えています。



【教科書をタダにする会要求大会】

(1961年:昭和36年)

午後からは、村上さんの先導によりマイクロバスで移動しながら長浜地区のフィールドワークを行いました。「教科書をタダにする会」の拠点であった館跡や子ども会活動の中心的存在の長浜児童会館、そして教科書無償運動と紫雲丸事故それぞれについての展示室が常設されている南海中学校を訪ねました。現地でないと感じる事ができない体感的な学びを得ることができました。

子どもたちには、教科書無償運動の経緯や紫雲丸事故との関係については、やや難しい面もありましたが、この運動は教科書がタダではないことは日本国憲法で定められたこと(第26条第2項:「(前文略)義務教育はこれを無償とする。」)が守られていないことを正すこと、そして差別と貧困からの解放を願い、子どもたちに満足な教育を受けさせてやりたいという保護者の気持ちの高まりから全国へ広がる運動へと繋がっていきました。



【南海中学校の展示室見学】

今回の研修で、教科書無償運動に関わった多くの人の生き方から学び、先人たちのこの闘いが、今の私たちの生活に繋がっていることを改めて感じる事ができました。

各種教室のご案内

＊第1回ふれあい料理教室＊

【日時】11月12日(水) 9:00～12:00

【場所】大町会館 1階調理室

【講師】土井 沙織 さん

【費用】500円(材料費)

【定員】8名(先着順)

パンを
作ります。



＊健康教室＊

【日時】11月17日(月) 11:00～12:00

【場所】大町会館2階 大会議室

【講師】済生会西条病院 作業療法士

【内容】認知症予防～虎の巻～

どなたでも
参加できます。
お気軽にどうぞ!

※お申込み・お問い合わせは、大町会館(☎55-5393)まで